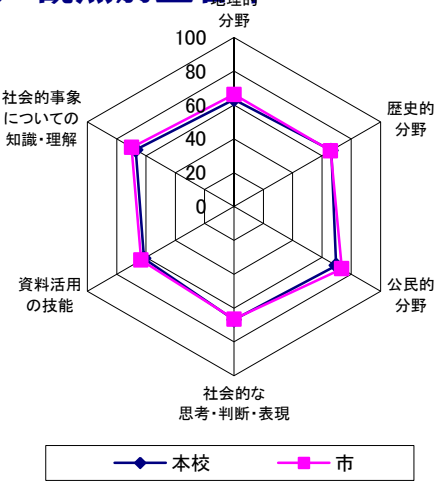


宇都宮市立瑞穂野中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	63.3	66.2	58.0
	歴史的分野	66.3	65.8	60.8
	公民的分野	69.7	73.5	69.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	67.0	66.6	58.6
	資料活用技能	61.4	63.4	55.9
	社会的事象についての知識・理解	67.0	69.8	64.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	・正答率は宇都宮市よりやや低い。 ●ヨーロッパ州にいける外国人労働者の移動の傾向を読み取り、移動の様子に関係のある事象を考察する問題の正答率が5ポイント以上低い結果である。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・複数の資料から読み取った情報を関連させて、複合的に社会的事象を考察することが苦手な傾向が見られる。普段の授業から知識・理解のみに偏ることなく、資料から読み取ったことを活用して地域の特色を説明する活動を重視していくことが大切であると考える。 ・学び合い活動を取り入れ、「なぜ？」ということを考える授業を転換することが必要だと考える。
歴史的分野	・正答率は宇都宮市よりやや高い。 ○「近世の日本」「近代の日本」の問題は、ほぼすべての問題で宇都宮市の正答率よりも高い。 ●冷戦を答える問題の正答率が低い。	・知識・理解にとどまることなく、歴史をみる目、考察する力が育ってきている。この視点に立って授業を組み立て、今後とも歴史をふり返る視点を養っていきたい。 ・歴史に興味・関心が高い生徒が多いので、興味・関心から発展させて歴史的な事象を「なぜ?」「その結果(影響)は?」の視点から考察させるように工夫することが大切である。
公民的分野	・正答率は宇都宮市よりやや低い。 ●憲法改正の手続きについての理解が不十分である。 ●「現代の民主政治と社会」の問題が、ほぼすべて宇都宮市の平均を下回る結果となっている。	・政治に関する理解が不十分であるので、主権者として政治に参加することの意義を理解させ、政治に対する興味・関心を高めていく必要があると考える。 ・新聞などのメディア資料を活用して時事問題を取り上げ、現代社会で起こる事象に対しての考察を話し合う活動などを取り入れていきたい。